

防災・福祉まちづくり

菊浜まちづくり推進委員会

▶担当 竹田宏三 ▶電話 075-351-4779

事業目的・背景

菊浜学区は、高瀬川を中心に、東に鴨川が流れる旧花街の古い町並みの細路地・袋小路が多数ある密集市街地で、少子高齢化が急速に進み(高齢者率30%以上)、立地条件の良さから近年宿泊施設が増加し、「防犯・防災」に関する地域住民の懸念が増加している。

毎年、各地で起きる台風や集中豪雨による災害、今後可能性のある「南海トラフ」による大災害時の「要配慮者」への対応等、「防災まちづくりプラン」を作成し、意識の向上を図る。

事業概要

平成29年度より、京都市や下京区社会福祉協議会、地域包括センター等と「防災・福祉まちづくり」を進める。災害時、要配慮者の避難をどうすべきか、今後「認知症患者」が確実に増える中、平時より要配慮者の避難の対応を考え、「模擬認知症徘徊訓練」を実施。

また、災害時にポリ袋と少量の水で調理する「減災カフェ」の試食会を開催。「防災まちづくり」のビジョンとなる「防災まちづくりプラン」を作成し、防災意識向上を目指して全戸配布する。

活動期間

平成27年1月発足。まち歩き会、意見交換会、空き家対策講習会を開催、学区の魅力発見を行い「菊浜トコトコマップ」を制作。

平成28年度、京都市地域連携型空き家流通促進事業への応募、専門家の講習会の開催、「菊浜ホームページ」制作、菊浜ビジョン「住みずみ菊浜かるた三十帖」発行、「空家・防

災マップ」制作。

平成29年度、市役所・区役所・社会福祉協議会・地域包括支援センター・まちせんと共に三年計画にて「防災まちづくり」に取り組む。無名路地等に命名版を災害時町内集合場所表示板を設置、住民の防災意識の向上に努力する。

成果

まち歩き会・意見交換会を実施し、下京区社会福祉協議会・東部包括センター協同企画による「模擬認知症徘徊訓練」を実施。要配慮者への接し方を体験できたことは大変意義があった。防災訓練に合わせ、減災カフェ(ポリ袋と少量の水で調理)コーナーで試食会を実施し、多くの参加者が関心をもって試食された。

本年度より区民会館横に「菊浜空き家対策・防災福祉まちづくり」専用掲示板を設置し、常に情報発信をする。住民の温度差はあるが、防災意識は向上し、絆も強くなってきている。

今後の予定

災害時には「ひと・まち交流館 京都」へ避難することになっているが、収容人数137名と非常に少なく、あと1500名以上の受け入れ先をどうするかが課題である。近年大型の宿泊施設が相次いで建設されており、空きスペースに「要配慮者」と付き添いの人だけでも一時避難できないか協定を結びたい。

また、「防災・福祉まち歩き会」「減災カフェ」等、イベント性のあるものを開催し、「防災福祉」に関心を持ってもらえるよう努力したい。



令和元年7月14日

【防災・福祉まちあるき】「模擬認知症徘徊訓練」の様子

「認知症」役の方に対し、どのような接し方をすべきか学ぶ。学区内の社会資源9か所(公共施設・ホテル・飲食店等)の皆様に「要配慮者」の見守り活動をお願いする。



令和元年12月1日

【減災カフェ】の様子

防災訓練当日、減災カフェブースを設置。ご飯・カレー・だし巻き・蒸しパンの調理実演試食会を開催し、多くの参加者が関心を持って試食され、レシピを持ち帰った。



令和2年2月13日

【防災まちづくりプラン】冊子発行最終打ち合わせ会議の様子

3年間(平成29年度～令和元年度)取り組んできた「菊浜防災まちづくり」のガイドラインとし、つながりてつくる災害に強いまちづくりを目指す。